

事務事業チェックシート

事務事業No 301 事業名 児童館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	児童福祉法		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	幸前 知子	435-1329
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童館費		
	大事業	児童館運営事業		
中事業	児童館管理運営事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 児童に健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に児童館を運営する。		全体事業概要 児童の健康増進及び健全な遊びの場を提供するために管理運営を行っている。平井児童館、杭の瀬児童館、芦原児童館、善明寺児童館、鳴神児童館、岩橋児童館、木ノ本児童館、本渡児童館の計8箇所。18歳未満のすべての子どもを対象としており、職員は児童館の管理のほか、来館する子供の指導にあたる。			
	事業内容	平成27年度 児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設基本設計業務委託	平成28年度 児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設実施設計業務委託 平井複合館基本設計業務委託	平成29年度 児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設実施設計業務委託 平井複合館実施設計業務委託 鳴神児童館2階遊戯室空調工事	平成30年度 児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設新築工事 平井文化会館解体撤去工事	平成31年度 児童館管理運営 平井複合館新築工事 杭の瀬児童館解体撤去工事

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	31,420	19,352	35,086	28,823	45,372	53,813	486,795			
伸び率(%)	-	-	11.7%	48.9%	29.3%	86.7%	972.9%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	13,010	12,567	12,567	14,366	43,346	56,071	51,524		
	正規職員以外	12,399	11,670	11,670	15,775	27,484	27,846	33,878		
	小計	25,409	24,237	24,237	30,141	70,830	83,917	85,402		
国庫支出金					4,467	2,293	20,410			
県支出金										
市債					17,600	28,000	386,600			
その他	162	18	18	18	18	18	18			
一般財源(税等)	31,258	19,334	35,068	28,805	40,905	23,502	79,767			
所要人数(人)	正規職員	1.75	1.65	1.65	1.81	5.45	7.03	6.46		
	正規職員以外	6.31	5.33	5.33	7.17	12.00	14.87			
主な予算内訳	消耗品費 1600千円		工事請負費 430,622千円		委託料 1,383千円					

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
運営箇所数	運営箇所数		目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	利用児童数	人	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
			実績値	61,661	63,651	58,640		
			達成度(%)	77.1%	79.6%	73.3%		
成果指標	利用件数	件	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
			実績値	8,312	7,469	6,536		
			達成度(%)	97.8%	87.9%	76.9%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・情操教育の拠点として重要な役割を果たす児童館は、子どもにとって極めて必要な施設と考えられる。 ・市内の各児童館ともに築30年以上経過し老朽化が進んでおり、修繕等に対応してきているものの、建替え等の必要があると考える。また、「和歌山市公共施設マネジメント基本方針」にもあるように、近隣公共施設との統廃合を行う複合化の検討を進めていく必要があり、杭の瀬児童館等複合施設、平井複合館について進めている。
見直し・改善内容	簡易な修繕については、業者に依頼せず当課職員において修理を行い、修繕料の削減に努めている。